



▲舳石（付近から移されたもの）

海の名残

地名から探る

綱木に残る舳石

遊歩一景

蔵王学区

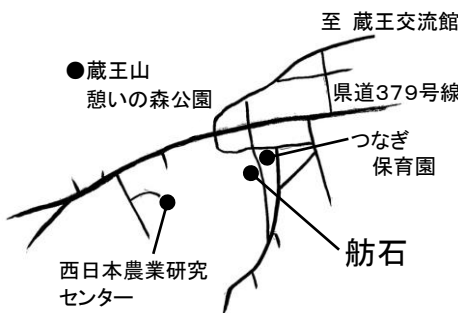
西日本農業研究センター（西深津町）東側の丘に建つ惣戸（そうど）神社の参道脇（南蔵王町綱木）に、変わった形をした石が置かれています。これは船をつなぎ留める綱を結ぶ石で、舳石と呼ばれています。

現在の春日・引野・南蔵王・東深津・手城町などの一部はかつては海でした。

平安時代、蔵王・深津の一带は荘園で、古文書には「備後深津地九十五町、浜六町、山八十九町」と記されています。この「浜」は製塩浜を表し、惣戸神社東側の田園付近にあったと推定されています。

1600年代、難工事の末に深津高地を掘り切って上井手（うわいで）を掘削し、芦田川の水を引き込むことに成功しました。これで、深津、蔵王、引野などへのかんがい用水が確保され、これらの地域の干拓が進み、かつての海は完全に姿を消してしまいました。

現在も残る綱木の地名は、船をつなぎ留めたことに由来すると言われ、舳石とともに、ここにかつて港があったことを今に伝えています。



桜坂ギャラリー 企画展

「性的マイノリティーのメッセージ」 ～ピア＆アライの にじいる掲示板～

●期間 7月6日(土)

～7月31日(水)

●場所 東部市民センター 2階ロビー

「高めあう 人権感覚 確かな未来」

東部いれこみ情報

学習情報紙
No.274
7月号

2024年(令和6年)7月1日

発行 東部地域振興課

住所 〒721-0915 福山市伊勢丘6-6-1

電話 940-2574 FAX 947-5658

カーは 福山市東部地域振興課

ホームページで 検索・二次元コード



夏休み直前!!こども教室 参加者募集

見る見る館で環境学習

～絶滅危惧種
スイゲンゼニタナゴ～

講師の古本さんは、盈進中学高等学校で環境科学研究部の顧問を務め、絶滅危惧種になったスイゲンゼニタナゴの研究を長年続けてこられました。現在、芦田川見る見る館でスイゲンゼニタナゴの飼育をしています。今回は、スイゲンゼニタナゴについてさまざまなお話をうかがい、観察をします。

●講師 古本 哲史 さん

元盈進中学高等学校教諭

国の希少野生動植物種保存推進員

広島県野生生物保護推進員

●日時 7月27日(土)

受付 9時45分～/開始 10時

終了 11時30分予定

●場所 芦田川見る見る館 地図⇒

福山市御幸町大渡橋そば

●問合せ先 東部地域振興課

電話：084-940-2574

FAX：084-947-5658

メール： ↓ ↓ ↓

toubu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp

ピアは当事者、アライは理解者・支援者をさします。

この企画展は、身体の性・自認性などの種類を問わず、共に前向きに生きられる社会への理解を深め合えるよう、性的マイノリティの当事者や理解者・支援者からいただいたメッセージを展示します。

主催・問い合わせ先 東部地域振興課

電話 084-940-2574

FAX 084-947-5658

旭丘学区のばら花壇の取組

6 月上旬、旭丘小学校の坂の上に位置するばら花壇のお世話をされている三吉さんにお話を聞きました。2017 年頃から草木等が生い茂っている状態を整備され、最初はばら苗 7～8 本を植えて少しずつ増やし、現在は 8 種類約 60 本のばらが咲くそうです。ばらの花を植えるきっかけは、小学校通学路脇の“かすら”繁茂対策だったこと、また、その頃実施した「まちづくりアンケート」で、子どもたちの“花いっぱい地域になったらいいな”という要望があったからだそうです。



今ではきれいに咲くばらが、住民のみなさんの癒しになっていて、ばら花壇での作業中に小学生からの「がんばって」という声かけもあるそうです。三吉さんはばら 100 本をめざし、他の花壇も一緒にお世話をする「旭丘ローズフレンド」のメンバーを募集されています。興味・関心のある方の問合せ先です。 三吉繁夫さん ☎090-2296-1609
旭丘交流館 ☎943-9787

培遠中学校のボランティア活動！！

●ボランティア活動をまとめる

ボランティアリーダー

培遠中学校では、生徒の中からボランティアリーダーを数名募り、そのボランティアリーダーを中心として、学校や地域の環境整備、文化祭・体育祭などの学校行事の準備や片付けなどを行っています。

●活発なボランティア活動

取材に伺った日も、毎月 1 回行っている学校前の公園の環境整備ということで、公園の草取りを行っていました。

この日の活動は放課後に行われ、授業が終わると、公園には自主的に参加した生徒約 100 人と PTA の方が集まりました。そして、一人ひとりが草削りを持ち、みんな笑顔で協力しながら作業に取り組んでいました。



●地域と学校をつなぐボランティア活動

ボランティアリーダーの中でリーダーを務める池田君は「みんなをまとめるのは難しいが、今日も多くの生徒が来てくれて嬉しい。今後も学校や地域をきれいにしていきたい。」と意気込んでいました。

また、菅教頭先生は「生徒たちがこうして進んで出てきてくれることは嬉しい。今後もこうした活動を通して地域と関わっていききたい。」と話していました。

他の写真⇒



東部管内イベント・講座情報

春日交流館

有害鳥獣対策講座

害獣（イノシシ・ハクビシン・アナグマなど）による農作物被害や家屋への侵入等が年々ひどくなってきています。野生鳥獣の被害はグループや地域を挙げて取り組む必要があります。野生鳥獣の生態を知り、侵入防止柵の設置や捕獲等の対策方針について考える場をつくり、自分たちや地域でできる活動を見つけていきます。

【日時】 7月13日（土）10時～11時30分

【会場】 春日交流館 会議室

【講師】 壇上理沙さん

（株）野生動物保護管理事務所 広島事業所）

【持ち物】 筆記用具

【対象】 だれでも参加できます。

【会場・申し込み・問い合わせ先】

春日交流館 084-947-4491

春日コミュニティ館

おもちゃ病院と〜ぶ

ボランティアのおもちゃドクターに趣味・特技を生かして、壊れたおもちゃをみてもらいます。

子どもたちの『ものを大切にする心』を育みます。

【日時】 7月6日（土）10時～11時30分

【会場】 春日コミュニティ館

【講師】 おもちゃドクター

【対象者】 どなたでも

【定員】 なし

【参加費】 修理代金は無料

部品代実費（かかる場合は要相談）

【申し込み】 不要

【その他】 取り扱えないおもちゃもあります。その日に治らない場合は、預かって治し後日返却します。

『離乳食講座』

離乳食期でも食べられる

スマッシュケーキのデモンストレーション

【日時】 7月23日（火）10時～11時30分

【会場】 春日コミュニティ館

【講師】 吉田一恵さん

（栄養士・子ども心理カウンセラー）

【対象者】 乳児期の親子

【定員】 なし

【持参物】 水分補給のための飲み物

【申し込み・問い合わせ先】

春日コミュニティ館 084-943-2531

伊勢丘交流館

子育てまんまる広場①

知っておきたい！あかちゃんと家族の防災

災害時に役立つ赤ちゃんツールの紹介やカンタンクッキングの指導（災害時レシピの実演・試食があります。）

【日時】 7月30日（火）10時～11時30分

【場所】 伊勢丘交流館 会議室

【講師】 吉田一恵さん（江崎グリコ株式会社）

【定員】 10組 ※授乳室を準備しています。

【会場・申し込み・問い合わせ先】

伊勢丘交流館 084-947-0511

東部図書館からのお知らせ

展示「世界バラ会議に向けて」

2025 年世界バラ会議福山大会と

東部地域のばら花壇の紹介展示

【期間】 7月17日（水）～7月31日（水）

絵本「ゆうちゃんとまほうのばら

～ばらのまち福山～」の原画展

【期間】 8月1日（木）～8月19日（月）

【場所】 東部図書館 1階フロアー

【問い合わせ先・申し込み】 東部図書館 084-940-2575

認知症サポーター養成講座

「認知症を学び みんなで考える」

【日時】 7月11日（木）10時～12時

【場所】 東部図書館 2階 集会室

【講師】 認知症地域支援推進員

【申し込み】 東部図書館（電話または来館で）

サロンコンサート

【日時】 7月23日（火）14時～14時30分

【場所】 東部市民センター 1階サロン

【内容】 フルートの演奏

【出演】 Flute Loquace

成長やチャンスを探す「無意識の思い込み」

無意識の思い込みは、気が付かない間に誰かのチャンスや成長を奪うことがあります。例えば、グループでキャンプに出かけたとします。到着すると、テント張りやテーブルなどのレイアウト、カマドやコンロの準備、食材・食器・調理器具の支度など、日常にはない作業が待っています。これらは、おしゃべりしながら楽しめるのがキャンプのいいところです。

さて、誰がどの作業を分担しましょうか？参加したのは、女性・男性・子ども・おとな…。

ロープ結びやナイフの扱い、火起こしや野外料理など、それぞれ得意な人がいると充実したキャンプができるでしょう。一方で、興味があ

っても「〇〇にはちょっと難しい」「自分には無理」「△△はしなくても大丈夫」の雰囲気があると、あきらめや遠慮につながります。経験の少ないことこそ、教えてもらいながら挑戦できれば、次回は「得意な技」になるかもしれません。

誰もが学び合い、活かし合って楽しめることができれば、今日の社会が理想とする「お互いを尊重し合う」関係になれるのではないのでしょうか。

アンコンシャス・バイアスとは、「無意識の思い込み」や「偏見」という意味で、私たちの社会に存在し、誰かの生き辛さにつながることがあります。誰もが幸せに暮らせる世の中であるために、考え合う機会となるよう今年度の記事として特集します。

野々浜交流館からのお知らせ

家族介護者交流教室 を開催します

- ・テーマ
～在宅で安心・安全に介護を継続するために～
- ・日 時 7月29日(月) 10時～12時
- ・会 場 野々浜交流館
- ・対象者 在宅で家族などの介護をしている方
- ・講 師 北村 公輔さん(理学療法士)
高城 慎吾さん(作業療法士)
- ・定 員 30人程度
- ・主 催 福山市地域包括支援センター引野
- ・申し込み／問合せ
野々浜交流館 電話 084-943-9412
包括引野 電話 084-940-5090



TouTube・トーチューブ

菖蒲の季節に尺八を吹いてみた！

春日池公園の菖蒲(しょうぶ)が咲き誇る季節に尺八の演奏していただきました。

●出 演 小林 聡 さん

●配信日時 7月6日(土) 9:00～

●動画サイト YouTube

●チャンネル TouTube.F

●問い合わせ先 東部地域振興課

・電話：084-940-2574

・FAX：084-947-5658



toubu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp

桜のさくらやき

今年も七夕の季節がやってきます。七夕には諸説言い伝えがありますが、幼い頃、中国から伝わった織姫と彦星の昔話を何度も読み、年に一度しか会えない織姫と彦星が天の川を渡って会うために7月7日の夜は「どうか晴れますように」と思いをはせていたことを思い出します。日本に伝わった七夕の行事は、平安時代には、宮中行事として行われ、桃や梨、なす、うり、大豆、干し鯛、アワビなどを供えて星を眺め、香を焚き、楽器を奏でて、詩歌を楽しみました。江戸時代になり、七夕行事が五節句の一つになると、行事は全国的に行われるようになり、人々は詩歌や習い事の上達を願い、時代と共に七夕行事の様子も変わっていきます。

今年も商業施設には、短冊に願い事を書いて、笹に飾ることができるようになりました。「家族が元気ですごせませすように」「クローラーができるようになりますように」など様々な年代の方が、カラフルな色の短冊に、ひとりひとり思いを込めて願いを書き、飾られています。

現在の世界情勢や経済、異常気象など私たちの生活に影響が見え、日々向き合わなければいけません。七夕の日は、少し空を見上げて過ごしませんか。

